

令和6年度
「介護テクノロジー等活用ミーティング」開催のご案内
～ 本音で語ろう！ 介護現場で働くみんなの情報交換会 ～

1. 背景・目的

高齢者の急増から現役世代の急減に局面が変化するなか、介護ロボットやICT等のテクノロジーを上手に活用し、介護現場の生産性を向上する取り組みが各所で実施されています。

一方、テクノロジーを高齢者・障害者介護の現場において利用する場合、利用者のADLの維持・向上と安全確保は勿論のこと、介護サービスの質や介護職員の負担軽減にも十分配慮しながら導入・利活用することが求められます。

こうした背景のもと、当協会では昨年度に続き、介護テクノロジー等(福祉用具やロボット・ICT 機器を含む。)の導入及び利活用に関する情報交換の場として「介護テクノロジー等活用ミーティング※」をオンライン開催することといたしました。

本ミーティングでは、介護テクノロジーの導入・利活用にあたっての工夫や課題を共有化し、介護現場における介護テクノロジーの効果的な活用を促し、楽しく・働きやすい職場環境の構築を推進することを目的といたします。

参加を希望する方は、協会ホームページからお申込みください。

※)ミーティングの名称を本年度から、介護ロボットから介護テクノロジーに変更しました。



2. 開催予定(予定)

全5回、下記の日付とテーマで開催いたします。

※詳細は、別紙(日程表)をご覧ください。

11月				
5日(火)	6日(水)	7日(木)	11日(月)	12日(火)
オンライン開催を予定				
13時～15時				
開催テーマ				
A	B	C	D	E
介護機器等を活用した生産性向上の取組みを推進しよう	介護機器等を活用した安心・安全な介護を実現しよう	介護機器等を活用するICT/DX化を推進しよう	デイサービス等における訓練・介護機器等の導入・利活用を考えよう	居宅介護サービスにおける介護機器及びICTの導入・利活用を考えよう

1)内容

- ①介護ロボット等に関する最新情報など(厚生労働省又はテクノエイド協会)
- ②介護ロボット等の開発・実証・普及広報のプラットフォーム 相談窓口の取り組み
- ③介護施設・事業所等による発表(2者)
- ④フリートーク(情報や課題の共有)

別紙参照

2)主な参加者

介護施設・事業所の施設長又は所長、介護主任(リーダー)、介護機器等の導入担当者、介護現場で介護機器等を取り扱う職員、行政 等

- 特別養護老人ホーム ○介護老人保健施設 ○有料老人ホーム ○グループホーム
- 軽費老人ホーム ○養護老人ホーム ○居宅介護サービス ○行政 等

3)定員

80名~100名程度(先着順)

※定員となりしだい、締め切らせていただきます。



4)開催方法

ズームミーティングを活用したオンライン開催とさせていただきます。



5)参加者申込み(無料・先着順)

参加申込みは、令和6年11月4日(月・祝)12時までとさせていただきます。
当協会ホームページから行ってください。



申し込み先(協会HP):

https://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyo.shtml#tab39_detail



注)本ミーティングは、オンラインによるリアルタイム配信のみとなります。別の日には視聴できません。

3. 本件に関する問い合わせ先

公益財団法人テクノエイド協会 担当:伊東、松本、美和、五島

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1番1号 セントラルプラザ4階

電話 03-3266-6883 FAX 03-3266-6885

E-mail robocare@techno-aids.or.jp

令和6年度 介護テクノロジー等活用ミーティング 日程表(案)
～ 本音で語ろう！ 介護現場で働くみんなの情報交換会 ～

1. 開催日	11月				
	5日(火)	6日(水)	7日(木)	11日(月)	12日(火)
2. 時間	13:00～15:00				
3. 開催方法	オンライン開催				
4. 主なテーマ	A	B	C	D	E
	介護機器等を活用した 生産性向上の取組み を推進しよう	介護機器等を活用した 安心・安全な介護 を実現しよう	介護機器等を活用する ICT/DX化 を推進しよう	デイサービス等における 訓練・介護機器等の導入・利活用 を考えよう	居宅介護サービスにおける 介護機器及びICTの導入・利活用 を考えよう
5. 募集人数	各回ともに、80名～100名(先着順)				
6. 参加対象者	介護施設・事業所の施設長又は所長、介護主任(リーダー)、介護機器等の導入担当者、介護現場で介護機器等を取り扱う職員、行政 等				
7. 内容	(敬称略)				
セッション1 (13:05～14:15)	◆開会 13:00～ 公益財団法人テクノエイド協会 活用ミーティング開催の背景、ねらい				
	1. 介護テクノロジーの効果的な活用を促し、楽しく・働きやすい職場環境を考えよう				
	①介護ロボット等に関する最新情報など(15分) 13:05-13:20				
	介護現場における生産性向上の推進について ～ 介護ロボット等テクノロジーの普及促進の取組み等 ～ 厚生労働省老健局高齢者支援課 介護業務効率化・生産性向上推進室 介護ロボット政策調整官 佐藤 修一 氏				
	②介護ロボット等の開発・実証・普及のプラットフォームの構築、地域における生産性向上の取組に関する支援事業(中央管理事業)に関する取組み(15分) 13:20-13:35				
	介護ロボット等の開発・実証・普及広報のプラットフォームの構築、地域における生産性向上の取組に関する支援事業の実施状況について NTTデータ経営研究所 永田 拓磨 氏 / 太刀川 遼 氏				
	③介護テクノロジーの導入、利活用に伴う工夫や課題、アイデア等について(各20分)13:35-14:15 (案)				
	小規模施設(定員18名のグループホーム)におけるICT導入の取組みとその効果 一般社団法人ケア・クリエイト グループホーム野の花 管理者 土肥 琴美	安心・安全・安楽な介護の実践と効果 ～人と介護テクノロジーの共生～ 社会福祉法人喜寿会 特別養護老人ホーム七美ことばき苑 サプリーダー・機能訓練指導員 平井 俊輔	ビジネスチャットを活用した介護DX 特別養護老人ホーム 柏きらりの風 ユニットリーダー・介護職員 遠藤 浩隆 生産性向上委員・介護職員 上野 立樹	デイサービスにおける、AI・ロボットを活用した、結果を見える化、数値化出来る機能訓練 デイサービスいきいき湯沢/横手 (株式会社e-MOTIONS) 代表取締役 渡部 真吉	スタッフが本来の業務に集中できる環境づくりとその効果 ナーシングホームLiBひらか 施設長 藤井 裕太
個人ワーク (14:15～14:25)	生産性向上で取り組んできたこと ～内閣総理大臣表彰に至るまで～ 特別養護老人ホーム 六甲の館 施設長 溝田 弘美	ICT/IoT機器の活用による安心・安全なケアの実践 特別養護老人ホーム自生園 副主任・機能訓練指導員 若村 浩樹	見守り機器を活用した夜間業務の効率化とICT機器でのデータ収集 地域密着型特別養護老人ホーム ことばきの森 施設長 藤井 俊文	介護研究部門の立ち上げ並びに回想法ゲームの開発、歩行支援ロボットの介護現場への適応化 小規模多機能型居宅介護 ななゆめの里 サービス付き高齢者向け住宅 ななゆめの森 Nanayume Care Lab 室長 阿部 将之	人口減少社会に介護経営をリデザイン 『業務棚卸』をキーワードに介護現場のDX化を推進する 株式会社あきた創生マネジメント 代表取締役 阿波野 聖一
	2. 現状と課題の整理 セッション1を踏まえて、現状と課題、発言内容の整理				
セッション2 (14:25～15:00)	3. 現場の思いをぶつけ、みんなの考えを聞こう(介護テクノロジー等の導入や利用にあたっての工夫や課題の共有化) オンライン上でフリーに意見交換や情報交換を行いましょう				

※各開催日の定員は、80名～100名(先着順)とさせていただきます。(定員となりしだい締切させていただきます。)